

## 令和5年度 第2回岡崎市生涯学習推進委員会会議録

### 1 開催及び閉会に関する事項

令和6年1月29日（月） 10時00分～11時15分

### 2 開催場所

岡崎市図書館交流プラザ 会議室301 及び Zoom による Web 参加

### 3 出席委員及び欠席委員の氏名

#### (1) 出席委員（6名）

益川浩一 委員長（岐阜大学地域協学センター長・教授）  
江良友子 委員（愛知学泉短期大学准教授）  
山田美代子 委員（りぶらサポータークラブ副代表、市民協働推進委員）  
葉山栄子 委員（岡崎市社会教育委員、名古屋学芸大学非常勤講師）  
神谷良夫 委員（市民公募委員）  
三井節代 委員（市民公募委員）

#### (2) 欠席委員

三矢勝司 委員（特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた  
事業推進マネージャー）

### 4 事務局職員の職氏名

中村耕（社会文化部長）  
加藤恭典（生涯学習課長）  
丸本洋乃（同課副課長）  
鈴木智（同課総務企画係長）  
林宏樹（同係主事）  
太田隼平（同係主事）  
谷端健司（中央図書館長）  
大村しのぶ（同館副館長）

### 5 傍聴者等

0名

### 6 開会挨拶

委員長挨拶

社会文化部長挨拶

（内容省略）

## 7 議題

今年度の事業見込みについて、資料を用いてまとめて事務局から説明を行った。

<以下、各委員の意見等>

委員：施策2-2-①取組2について、愛知県図書館の通函を利用している相互貸借に限って掲載されているが、愛知県図書館の通函を利用していないものもあって、実際の数だと借受も貸出も記載より多いのではないか。

事務局：「愛知県図書館の通函等」としており、通函を利用していないものも全て含んでいる数値を記載している。

委員：郵送での相互貸借の場合の送料は利用者負担か。

事務局：郵送の場合は、利用者負担でお願いしている。

委員：施策4-2-②取組2について、額田図書館を調べると収容可能冊数は2万冊であるのに対し、蔵書数が2万4千冊ということは、まだ除架をする必要があるということか。

事務局：額田図書館の蔵書については、全体のバランスを見ながら除架をして行く必要があると考えている。

委員：蔵書数を2割程度減らすというのはかなり大変であるため、何か他に蔵書数を維持できる良い方法はないか。

事務局：なかなか棚を増設できるわけではないため、除架は必要だと考えているが、一気にできるわけではない。必ず2割というわけではなく、現場の様子も見ながら進めていきたい。

委員：除架をしなければならない状況はあると思うが、冊数を上手く保持できる方法も考えつつ、貴重な資料が抜け落ちてしまわないように蔵書の適正化に努めていただきたい。

委員：施策1-1-①～④取組1の定期講座や施策5-1-①取組1のりぶら講座は、それぞれどのような講座か。市から講師に報償金を支払って依頼しているものか。

事務局：定期講座は、市から講師に報償金を支払って依頼し、各市民センターで

年間 18 回、10 回又は 1～3 回の形で開催している。

りぶら講座は、市から市民活動団体のりぶらサポータークラブに委託し、市民の講師が市民に対して教えるという形で行っているものであり、講師に報償金をお支払いしているものではない。

委員：私が講座を受講しようか考えたときに、市政だよりしか情報を得られる手段がない。どこがどのような講座を実施しているのか情報が整理されていなくて分かりづらいため、生涯学習課で情報をまとめてほしい。

事務局：現在は各講座を実施する主体がそれぞれで情報を出している状況である。情報発信については、岡崎市生涯学習推進計画にも掲載している事項であるため、その中で検討していきたい。

委員：以前行われていた市民大学のように、時流に沿った話ができる講師を招いて市民の知的好奇心を煽るようなイベントがあっても良いと思う。また、シニア向けの講座でもっと知的な講座もあっても良いと思う。

事務局：定期講座等の受講者に対するアンケート調査で市民ニーズを図っているため、その結果を踏まえて次年度にどのような講座を実施するか検討していきたい。

委員：電子図書館について、何が課題になっているのか、どのような検討をしているのか。

事務局：課題として、出版社側が電子図書館用に提供している本が少ないこと、利用の回数や期間に制限があること、1冊あたりの単価が高いことがある。興味が湧く蔵書になるよう、ある程度の冊数を用意するために費用がかかることと、本当に読みたい本が電子図書館になかなかないという状況も踏まえて、導入が進んでいない。

委員：情報発信については、「こういうことを学びたい人はこの場所で行われているこの講座」と分かりやすく伝わるよう、体系的な情報発信を検討していけると良いと思う。

委員：市内大学でも市民向けに講座を行っているとのことだったが、どの大学がどんな講座をやっているかを各大学から情報を探すことは相当興味がある方でないと思わないと思うので、市でまとめて発信できると良いと思う。

事務局：市内大学が行っている講座については、市政だよりに掲載しているものもあるが、情報の出し方としては他の記事と一様に掲載している状態のため、先ほどの情報発信の話と合わせて検討していきたい。

委員：施策1-3-①取組1について、配布した知的障がい者向け生涯学習手帳の次の展開は考えているか。

事務局：障がい者関係団体と協議して製作した生涯学習手帳であるが、配布開始後は、その団体と密に連絡を取ってきたわけではないため、現場のお話を伺いながら検討していきたい。また、配布していただいている友愛の家でも、障がい者向けの講座を数多く開催しているため、それらと重複しない範囲で取組めることがあるかについても伺ってきたい。

委員：施策1-1-④の「社会的課題」とは、今回でいうと何を示しているのか。

事務局：例えば、高齢化が進むにあたって御心配になる方が多い遺産相続に関する講座などを実施している。

委員：施策2-3-②取組1について、調査している導入済図書館とはどこで、どのような分析結果だったのか。

事務局：導入済図書館は、近隣であれば豊田市、西尾市、安城市、刈谷市、知立市、豊川市、名古屋市などで、逆に豊橋市などは導入していない。導入済図書館では、蔵書の構成やそれに対する利用率、どのような世代にアピールをしているのか分析を行っている図書館もある。また、日本全体の電子図書館について研究している団体があるため、その団体の研修を受け、その中で特徴的だった図書館の情報収集を行っている。例えば、小中学校でタブレットの導入が始まったことを踏まえて、電子図書館においても小中学生のタブレット利用という点が研究されているため、岡崎市で導入する場合においてもタブレット利用を念頭に置いた蔵書の構成にしたらどうかなどの分析を行っている。

委員：施策4-1-①取組1の「歴史講座の開催」について、来年度に向けては何か考えはあるか。

事務局：具体的に内容を詰めているわけではないが、例えば郷土に関わる偉人について学べる講座を設けられたらと考えている。

- 委員：人だけではなく、八丁味噌等の産業なども学べると良いと思う。
- 委員：最近では学校でも生徒が実際に校外に出て地域を学んだり、地域課題の解決方法を生徒なりに考えたりする「ふるさと学習」という取り組みもされているため、そういった学校との連携も検討できると良いと思う。
- 委員：既に意見が出たところであるが、大学との連携については、是非進めてほしいと思った。また、「歴史講座の開催」については、今年度が実施予定なしというのはとても寂しい印象を受けた。岡崎市には地域の歴史や文化、特性はたくさんあると思うので、ぜひ実施してほしい。
- 委員：歴史の話は深い知識が必要になると思うが、例えば歴史を勉強しているグループや市民講師もいると思うので、そういった方の活躍の場としても良いと思う。
- 委員：市政だよりを見ていても、生涯学習課が開催している定期講座の記事を見たことがないが、どこで情報を見ることができるのか。
- 事務局：定期講座のうち、長期・中期の講座は、年間を通して学ぶものであるため、市政だより4月号に掲載して受講者の募集を行っている。短期の講座は、随時開催しているため、開催時期に応じて市政だよりに掲載している。
- 委員：年度始まりにしか告知が出ないということか。
- 事務局：長期・中期の講座は、市政だよりでは4月にしか掲載していないが、途中からでも参加できる取り組みを今年度から始めており、各市民センターや市ホームページ上で継続的に御案内している。
- 委員：論点を整理すると、1点目として、大学との連携を進めていただきたい。  
2点目として、地域の特性を活かした歴史講座を展開していただきたい。  
3点目として、図書館の蔵書の適正化については貴重な資料が抜け落ちないように注意しながら進めていただきたい。  
4点目として、障がい者向けの生涯学習手帳について、次の展開も検討していただきたい。  
5点目として、市民目線で分かりやすい形での学習情報の発信について検討していただきたい。  
この5点が御意見として挙がりましたので、事務局として受け止めてい

ただきたい。

これらに加えて、社会教育士という資格を取る方が増えてきたと聞いているので、もし可能であれば、市内の社会教育士取得者を把握し、活用を図れると良いと思う。また、講座の情報を発信する中でSDG sの該当するアイコンを付け、自分がどんな学びに取りかかろうとしているのか分かりやすくするといった工夫もあると良いと思う。

－ 会 議 終 了 －